

力宜^ツ革^ム斯弊^ヲ。是も二十八祖を立^テ、石にきざみ版にちりばめて傳^フる事、甚^ク以^テ誤^レり。此事を知る人あらば此の誤をあらためなをせと也。祖師禪甚^ク僻^ク事なる事、是^ニあり。先に所^レ引^ク大梵天王問佛決疑經の文を教外別傳の證據に汝^レ引^ク之^ヲ、既に自語相違せり。其上此經は說相權教也。又開元貞元の兩度の目錄にも全^ク不^レ載^セ。是錄外の經なる上^ニ權教と見えたり。然れば世間の學者用ゐざるところ也。證據とするにたらず。抑今の法華經を説るゝ時、益をうる輩迹門界如三千の時、敗種の二乘崩^ニ佛種^ヲ。四十二年の間は永不成佛と嫌はれて、在在處處の集會にして罵詈誹謗の音^ヲをのみ聞き、人天大會に思^ヒうとまれて、既に飢死^シべかりし人人も、今の經に來て舍利弗は華光^ニ如來^ヲ、目連は多摩羅跋耆^ニ檀香^ニ如來^ヲ、阿難は山海慧自在通王佛、羅睺羅は蹋^テ七寶華^ニ如來^ヲ、五百羅漢は普明如來、二千聲聞は寶相如來の記筈に豫る。顯本遠壽の日は微塵數菩薩、増道損生位鄰^ニ大覺^ニ。されば天台大師の釋を披見するに、他經には菩薩は佛になると云て、二乘の得道は永く無^シ之。善人は佛になると云て、惡人の成佛を明さず。男子は佛になると説て、女人は地獄の使と定む。人天は佛になると云て、畜類は佛になるといはず。然るを今經は是等が皆佛になると説くたのもしきかな。末代濁世に生を受^テといへども、

提婆が如くに五逆をも造らず三逆をも犯さず、而るに提婆猶天王如來の記筭を得たり。況や犯さざる我等が身をや。八歳の龍女既に蛇身を改めずして南方に妙果を證す。況や人界に生を受たる女人をや。只難得人身難值正法也。汝早翻邪付正轉

凡證^{ラッセン}聖^ヲと思はば、念佛・眞言・禪・律を捨て、此一乘妙典を受持すべし。若爾らば妄染の塵穢を拂て、清淨の覺體を證せん事、疑なかるべし。爰に愚人云、今聖人の教誡を聽聞するに日來の矇昧忽に開けぬ。天真發明とも云つべし。理非顯然なれば誰か信仰せざらんや。但し世上を見るに上一人より下萬民に至るまで、念佛・眞言・禪・律を深く信受し御坐す。さる前には國土に生を受ながら争か王命を背かんや。其上我が親と云、祖と云、旁^ヒ念佛等の法理を信じて他界の雲に交り畢ぬ。又日本には上下の人數^ス幾^クか有る。雖然^{リト}權教權宗の者は多く、此法門を信ずる人は未聞^ク其名^ヲ。仍善處惡處をいはず、邪法正法を簡^スばず、内典五千七千の多きも、外典三千餘卷の廣きも、只主君の命に隨ひ、父母の義に叶ふが肝心也。されば教主釋尊は天竺にして孝養報恩の理を説き、孔子は大唐にして忠功孝高の道を示す。師の恩を報ずる人は肉をさき身をなぐ。主の恩をしる人は弘演は腹をさき豫讓は劍をのむ。親の恩を思人は丁蘭